

# 「防災・減災フォーラム2005 in 沖縄」

－（沖縄における豪雨・津波災害対策と情報伝達について）－

## 1. 目的

- 1) 防災・減災に関する啓発活動
- 2) 防災・減災対策の推進（ハザードマップ等）

## 2. 実施主体

- 1) 主催：全国地方紙連合会、琉球新報、沖縄タイムス
- 2) 後援：国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、那覇市、  
気象庁沖縄気象台、NHK沖縄放送局 他

## 3. 開催について

- 1) 開催日時：平成17年7月11日（月）13:30～16:30
- 2) 開催場所：那覇市「パシフィックホテル沖縄 万座の間」
- 3) 開催規模：300人程度

## 4. プログラム

- 1) 防災に関するビデオ上映
- 2) 基調講演：「災害時の情報をどうする？」NHK 解説委員 山崎 登 氏
- 3) パネルディスカッション  
「地域防災と情報伝達を考える」

### ①パネラー

- ・学識者：NHK 解説委員 山崎 登 氏
- ・学識者：琉球大学名誉教授 津嘉山 正光 氏
- ・民間代表：沖縄県旅行業協同組合理事長 東 良和 氏
- ・防災行政：沖縄気象台長 佐伯 理郎 氏
- ・防災行政：沖縄総合事務局次長 渡口 潔 氏

### ②コーディネータ：NHK 沖縄放送局局長 川端 義明 氏

◆ 「防災・減災フォーラム2005 in 沖縄」の開催報告

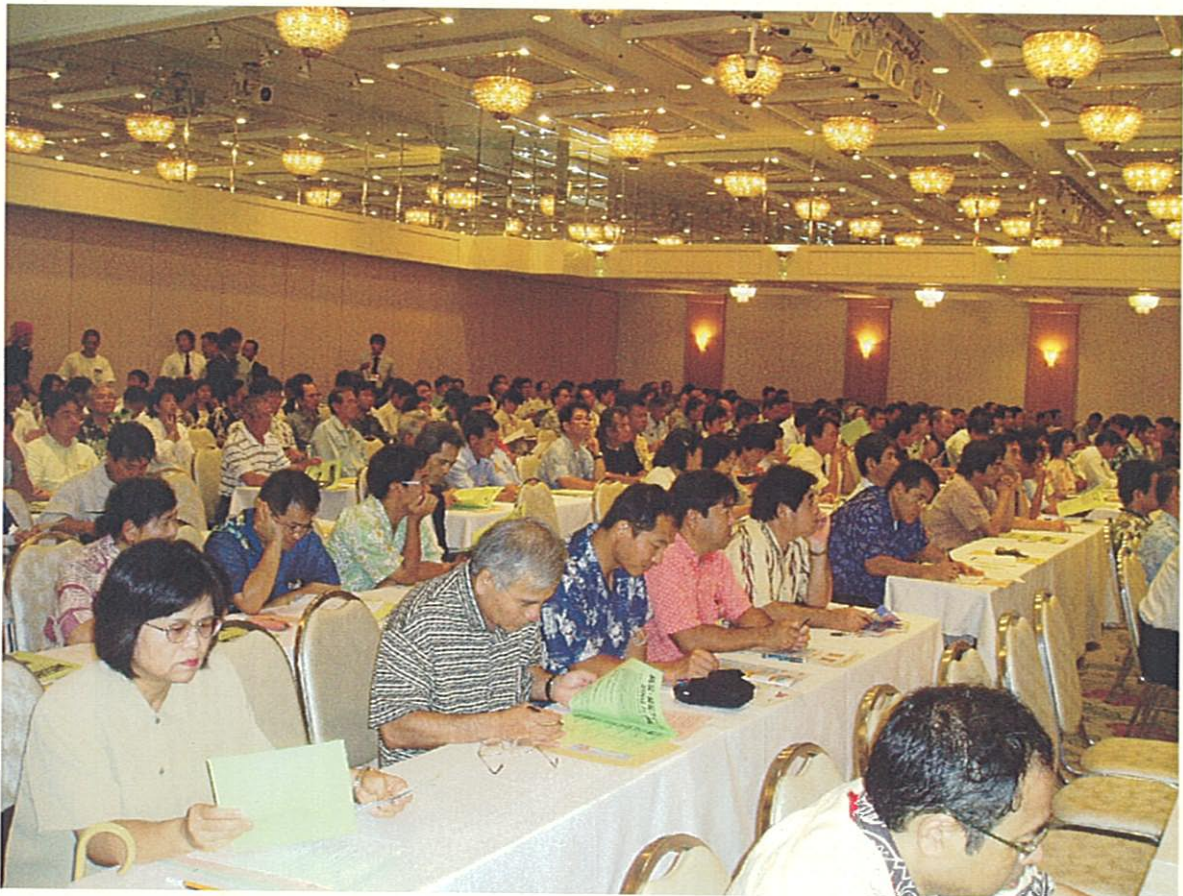
○7月11日(月)に防災・減災に関する啓発を目的として「防災・減災フォーラム2005 in 沖縄」が琉球新報社、沖縄タイムス社の主催で行われ、防災関係者や一般者あわせて320名の参加があった。

○基調講演では、「普段の備えについて日常的な取り組みを重視すること」、「今後未知の災害について起こりうる可能性があること」、「情報の送り手、受け手の共通認識の重要性」について説明があった。

○パネルディスカッションでは、

- ・ 県内災害の特徴の紹介
- ・ 観光立県として観光客への災害情報伝達方法についての課題
- ・ 各市町村へのハザードマップ作成の呼びかけ
- ・ 災害情報の共有化の必要性

などについて論議がおこなわれ、災害情報伝達の再構築の取り組み、普段からの災害への心構えが必要であることが提言された。



会場の状況



基調講演の状況



パネルディスカッションの状況